

第5回清瀬市補助金等適正化検討委員会議事録（要旨）

会 議 名：平成24年度 第5回 清瀬市補助金等適正化検討委員会

事 務 局：企画部財政課財政係

開催場所：消費生活センター4階会議室1・2

日 時：平成24年10月15日（月曜日）

午後6時30分～午後9時15分

出 席 者：委員10名（町田委員長、松崎副委員長、北場委員、田村委員、
小川委員、乙黒委員、香西委員、迫田委員、清水委員、
城山委員）

事務局6名（企画部長、財政課長、財政課副参事、他3名）

欠 席 者：0名

傍聴者数：0名

会議次第

1. 開会

2. 第3・4回議事録（要旨）の確認

3. 議題

（1）補助金適正化の検討について

（2）その他

4. 閉会

審議経過

1. 開会

委員長より開会の挨拶

2. 第3・4回議事録（要旨）の確認

委員長が各委員に対して確認し、各委員が了承

3. 議題

（1）補助金適正化の検討について

資料8をもとに各補助金の検討を行い、以下のとおり評価を行った。なお、資料8に掲載のない補助金については現状のまま継続とする。

●統一メーデー補助金

多摩26市のうち18市が補助していないため廃止。

●たばこ税増収対策協議会補助金

健康増進という政策目的に反しており、販売促進を目的とする補助効果が期待できないため廃止。

●住宅改良資金利子補給

平成23年度融資実績がないため廃止。

●防犯協会補助金

後継者不足であることから役員が高齢化・長期化しており、自転車に対する指導不足など現代に対応できていない旧態の活動がみられることから、市もバックアップして組織を活性化させるべき。

●私立幼稚園教員研修費補助金

削減しながらも、運営補助に対する補助のあり方を議論し、検討すべき。

●生ごみ減量化処理機器購入費助成金

実績からみて事業としての優先順位が低いため廃止。

●フリーマーケット助成金

近隣市で補助していないことや、自主運営が期待できる事業であることから廃止。ただし、支援体制として場所をこれまでどおり提供することや、市報掲載など広報に関して積極的に協力すべき。

●環境市民スクール助成金

参加者が少ないことから削減。もっと参加者が増えるよう努力を求める。

●きよせ産野菜出荷容器補助金

「きよせ」をPRしており、清瀬市の農業を推進している補助金であることから現状維持。

●商工協同組合助成

レクリエーション事業に対する補助分について削減。

●商工会助成

プロジェクトに対する補助へ転換すべき。

●老人クラブ連合会

●老人クラブ助成

削減したうえで、コンサルタントに委託して地域づくりを含めて新しい方向性を検討すべき。

(2) その他

第7・8回委員会の日程調整を事務局で行い、以下のとおり決定

- ・第7回：平成24年11月19日（月）
- ・第8回：平成24年12月17日（月）

4. 閉会